

# 委員会の焦点

～委員会審査報告から～

## 発展する塩尻の足音

### 経済建設委員会

当委員会には、条例5件、予算案件11件、事件案件3件、請願2件の議案が付託され、審議の結果、請願陳情を除いて原案のとおり可決すべきものと決し、請願2件については、いずれも継続審査となりました。

今委員会の主な内

容は、平成19年度の予算案の審議でありました。主なものとして、農林関係では、ぶどうの郷づくり事業と有害鳥獣駆除関係に力が入られました。塩尻インキュベーションプラザのオープンとこれに伴い新工業団地の調査が始まることとなりました。また観光面については、見直ししながら特色あるイベント計画の充実が

されていくものとなりました。建設事業関係については、広丘駅の橋上化工事が着実に進行し、本年12月供用開始がされることとなり、高校北通線についても、完成に向けて大きく前進します。

会議終了後、広丘駅工事の現状などの視察を行いました。



12月の供用開始に向け  
工事の進むJR広丘駅

## 北部地域 子育て施設充実

### 福祉教育委員会

福祉教育委員会は、3月9日、12日の2日間にわたり開催し、平成19年度予算、条例、事件案件、補正予算など18件について慎重に審査しました。

塩尻市奨学資金貸与条例の一部改正では、奨学生選考委員

会の定数を減じ、8名以内とし、当初全額支給であったため入っていた助役、収入役を構成員から削ること、木曾広域連合で貸付けた奨学資金の返還等について塩尻市の体系に移るための経過措置を定めるものとの説明を受けました。

19年度予算の審査の中で旧吉田ひまわり保育園を改修し、北部地域子育て支援センター、



新しく開園した  
吉田ひまわり保育園

吉田児童館分館として使用することに對し、老朽化しており、新築も検討すべきではとの意見が出されましたが、「現在、児童クラブが大変手狭となっており、早急な対応が求められている」との説明があり、建て替えもにらみ、改修は過大なものにならないよう配慮すべきとの意見をつけて了承しました。

## 副市長制度スタート

### 総務環境委員会

本定例会で付託された案件は、副市長の定数を定める条例案件や財産の無償貸付けについてなどの事件案件、平成19年度の一般会計や特別会計予算案など18件でした。審査の結果すべて原案のとおり可決すべきものとし

ました。

財産の無償貸付けについては、費川小学校の閉校に伴い土地や校舎などの財産を平成会に10年間貸付け、理学療法士の養成施設を誘致することを議決したものです。国から補助金を得て建てられた校舎などを有償で学校以外に使用する場合には法律により、補助金の返納と起債残の一括返済が

必要となるために無償で貸し付けるものとなったものです。新年度の一般会計予算では、歳入で市税は税制改正による影響で前年度比9.2%増の約百億円が見込まれています。地方交付税は2.3%減となり予算総額268億円の規模となりました。一般会計や国保会計などの補正予算は、決算見込みによる補正がされました。



3月で閉校となった費川小学校  
(3月23日 校名板降収式)